

札幌市街路樹基本方針の改定案について

第96回札幌市緑の審議会
令和6年11月21日

本日の流れ

資料 2-2

P2

1. 現行の街路樹基本方針について
2. 札幌市の街路樹の現状と課題
3. 街路樹基本方針の改定案について
4. 今後のスケジュール

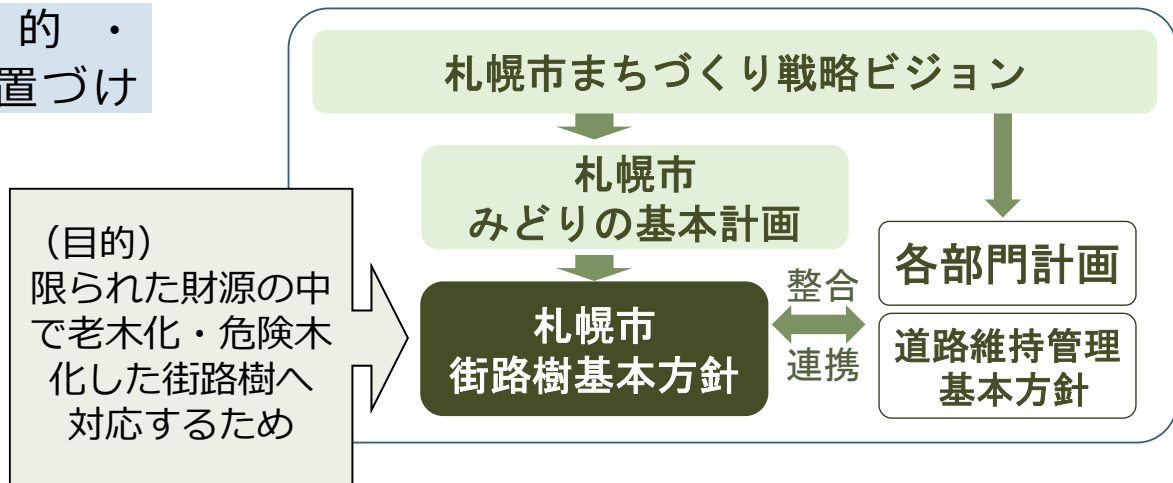
1. 現行の街路樹基本方針の概要

計画期間 平成27年（2015年）から10年程度

背景

- ・ 昭和40～50年代の急速な道路整備
- ・ 狭小道路への植樹や早生樹種の使用
- ・ 沿道住民の生活への支障や、管理費の圧迫

目的・位置づけ



2. 現在実施している取組

- 街路樹の樹種の改善
- 街路樹の配置の改善
- 街路樹診断による危険木の撤去
- 都心と主要幹線道路の街路樹の充実

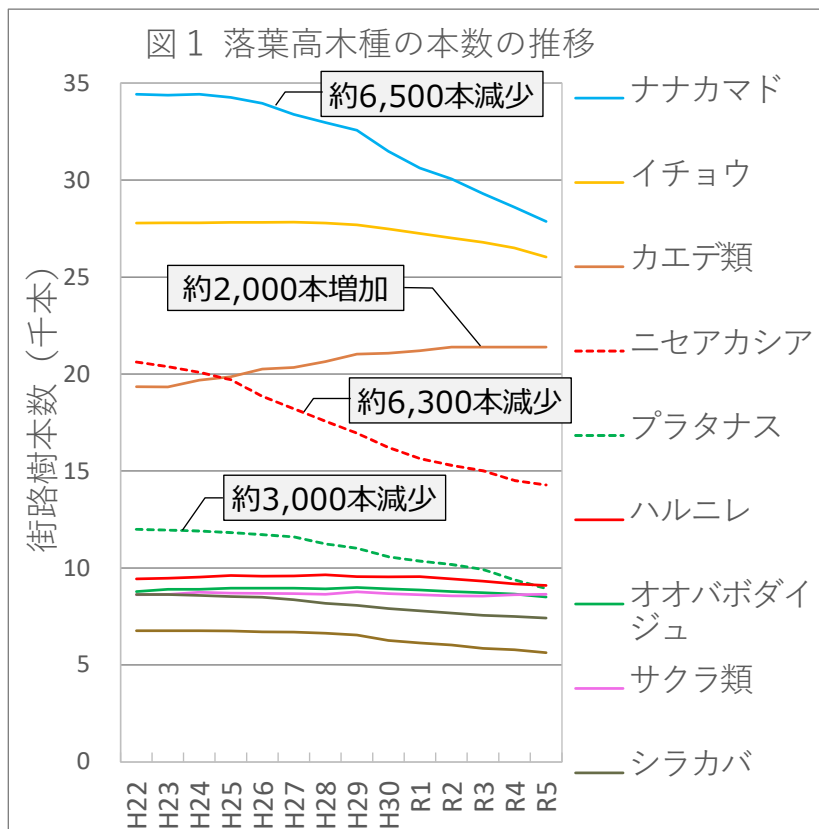
2.現在実施している取組

街路樹の樹種の改善

◆樹種検討の考え方

- ・ 早生樹種からの転換
- ・ 郷土種の積極的な採用
- ・ 可能な限り統一感のある景観の形成
- ・ 環境条件に適応した樹種の選定

※早生樹種…生長の早い樹種



2.現在実施している取組

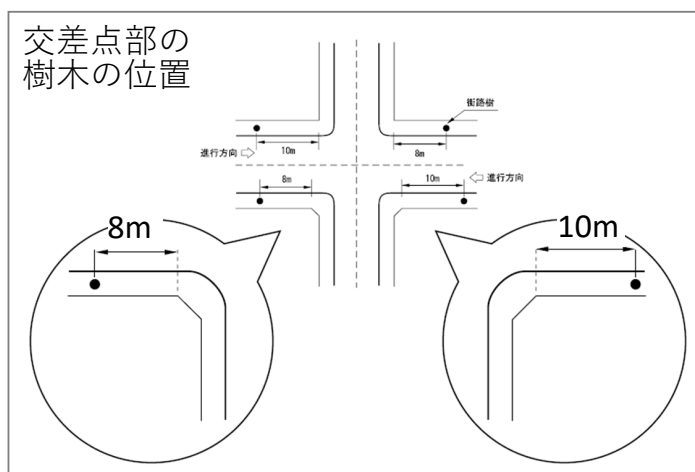
街路樹の配置の改善

- ・ 幅の狭い歩道にある街路樹の改善
- ・ 交差点部街路樹の改善

※歩道幅員 3.0m以上 3.5m未満における街路樹の取り扱い

各区土木部公園緑化係と協議の上決定する。原則植栽は行わないが、当該道路の接続先の道路に既に連続して街路樹が植栽されている場合、交通量の多い道路や通学路の交通上必要だと判断される場合、周囲に緑地などのまとまった緑がない場合等、周囲の状況から街路樹を植栽することが適当である場合には、地元との調整のもと街路樹植栽を検討する。

歩道幅員	新規植栽	既存木の補植
3.5m以上	○	
3.0m以上3.5m未満	△※	
3.0m未満	×	

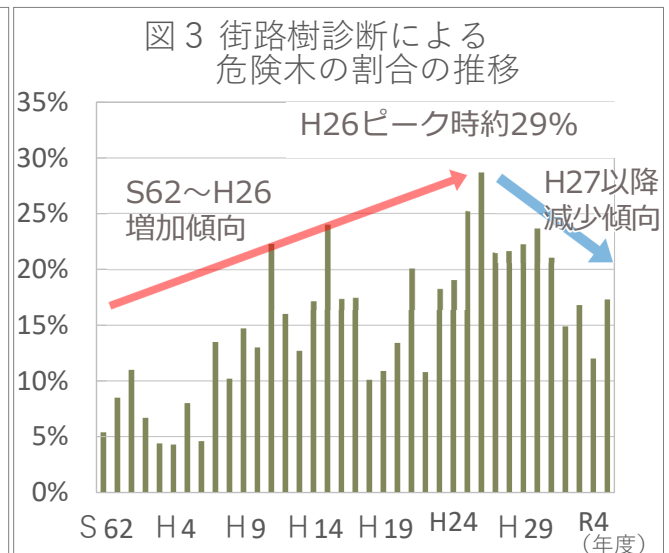
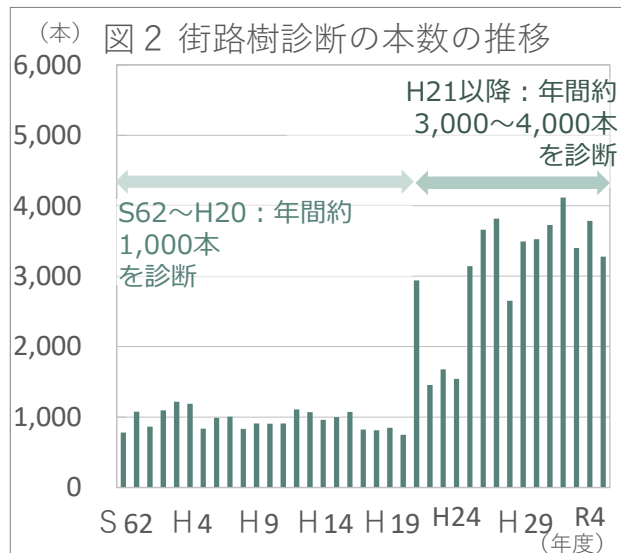


(関連方針：札幌市「歩道施工ガイドライン」)

2.現在実施している取組とその成果

街路樹診断による危険木の撤去

- ・ 樹木医による街路樹診断の実施
- ・ 危険木はすみやかに撤去



2.現在実施している取組とその成果

都心や主要幹線道路の街路樹の充実

◆ボリュームアップ剪定

背景…都心におけるみどり不足

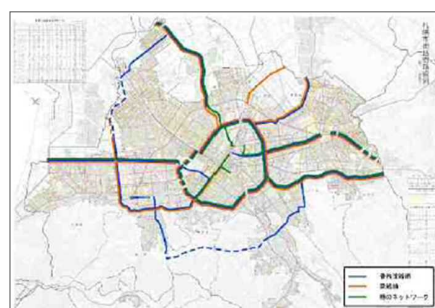
…上位計画・関連方針との整合

方法…枝が混んだ状態を解消する、きめ細やかな剪定

…ボリューム感のある樹形づくり



都心のボリュームアップ路線



「緑の廊下・主なネットワーク」
「景観軸」「骨格路線網」路線

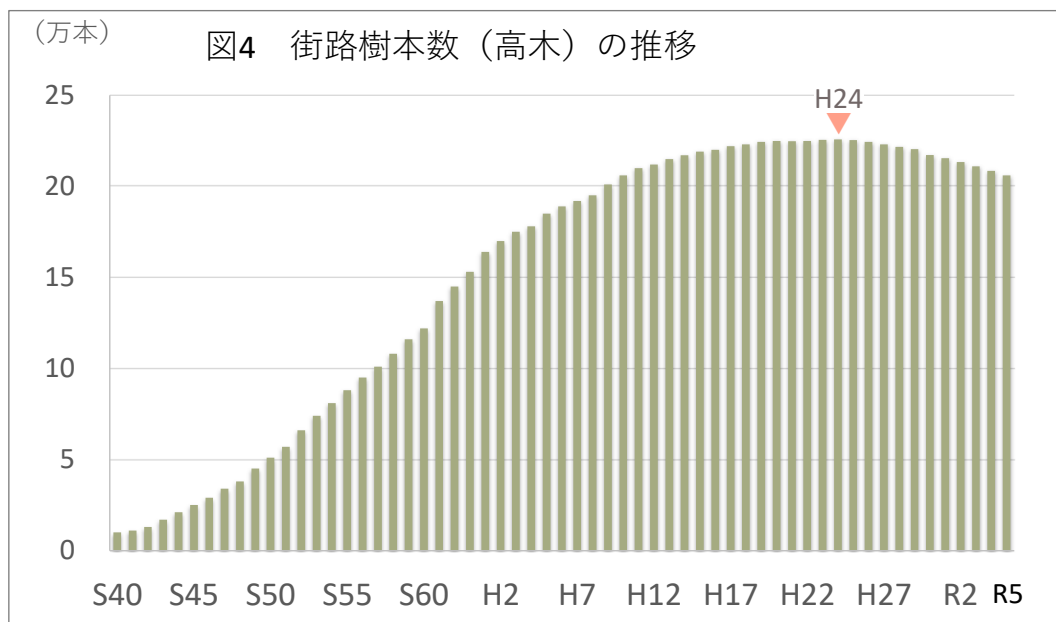


札幌駅前通のオオバボダイジュ

1. 街路樹の現状

街路樹本数

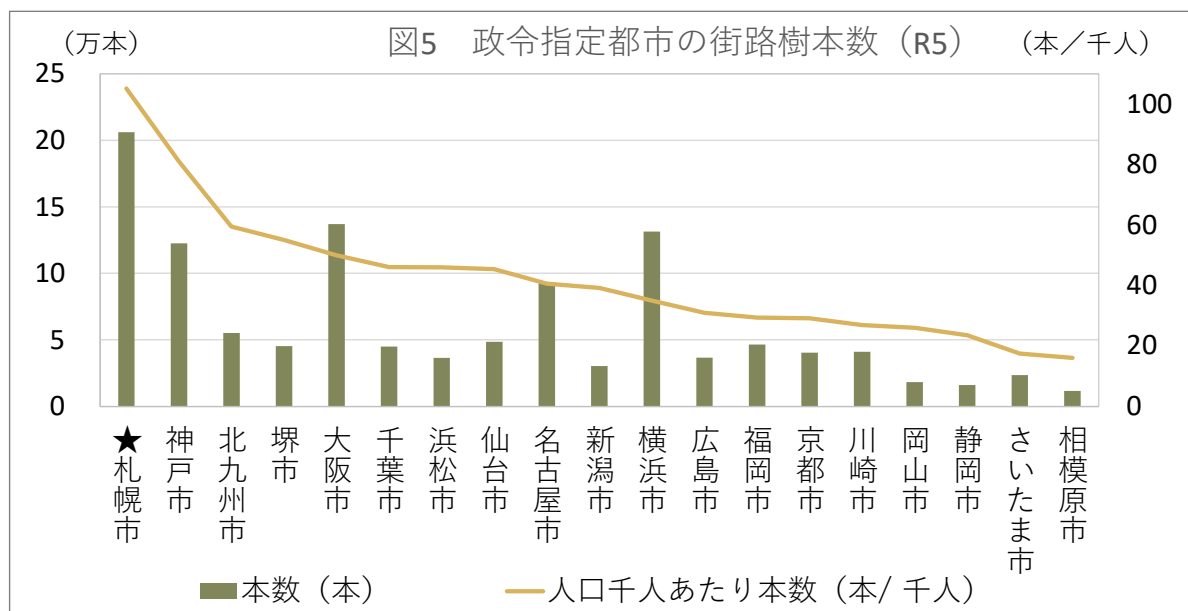
- 平成24年の約22万6千本をピークに減少傾向にあり、令和6年3月末時点では約20万6千本（図4）



1. 街路樹の現状

街路樹本数

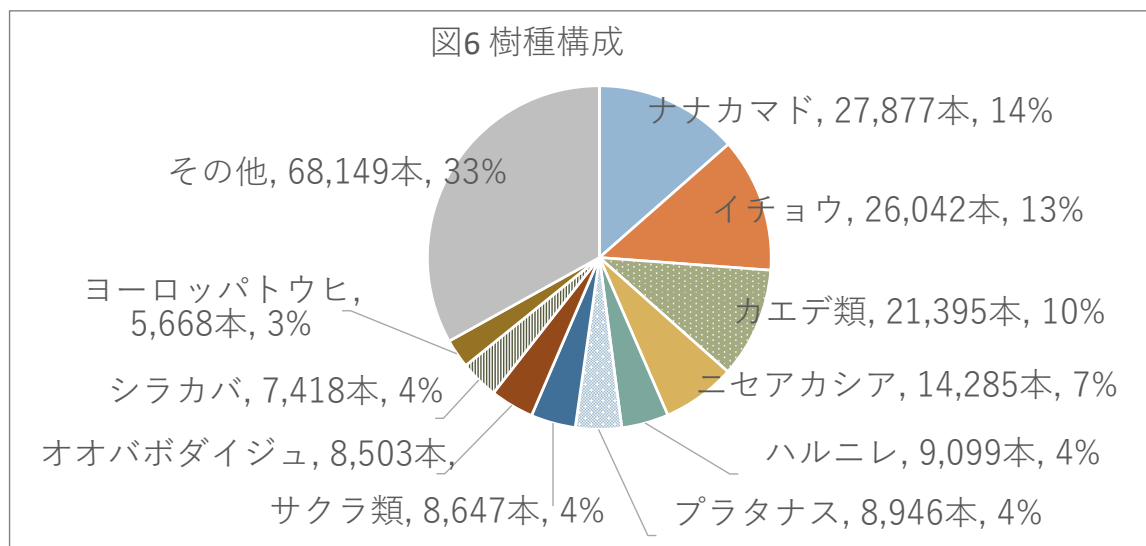
- 高木本数は20都市中で 1 位（図5）



1. 街路樹の現状

街路樹の樹種構成

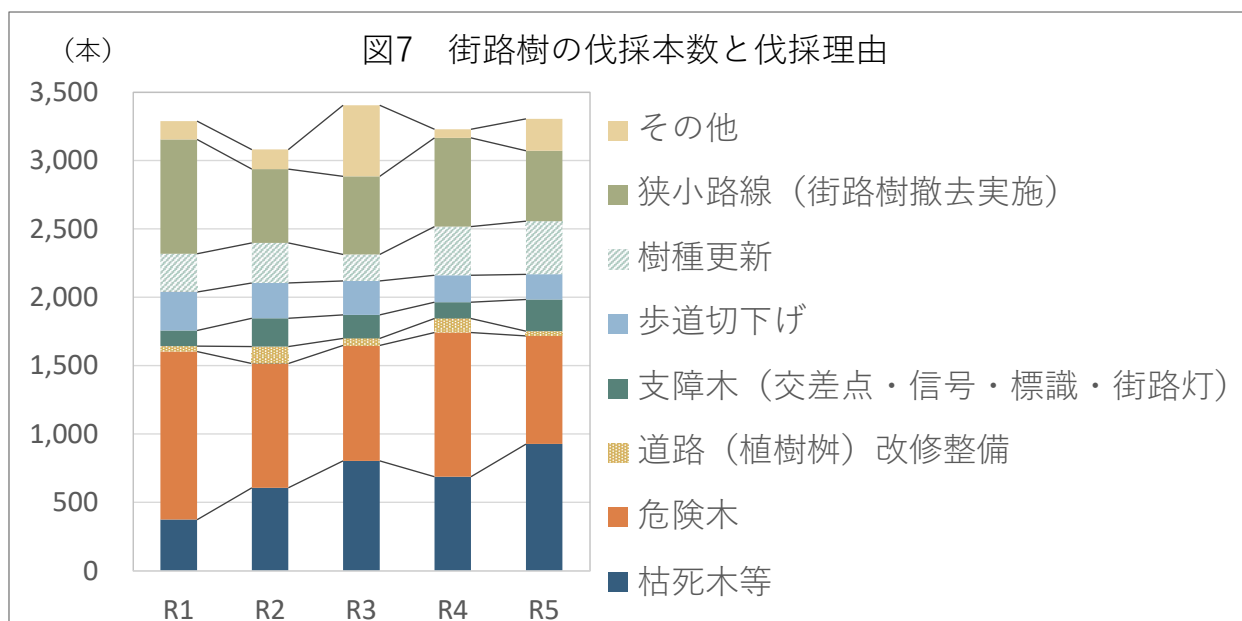
- ・約20万6千本のうち、早生樹種が 約4万本
- ・早生樹種のうちニセアカシアやプラタナスが多い（図6）



1. 街路樹の現状

危険木・支障木の存在

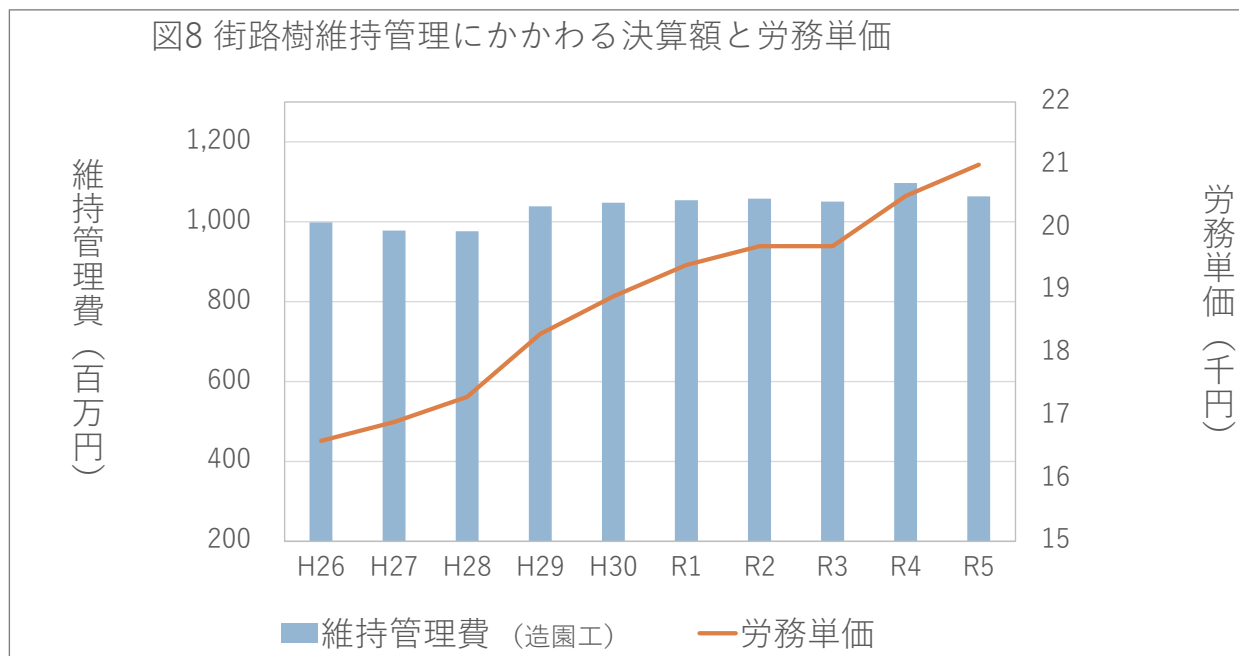
- ・街路樹の伐採理由…危険木や枯死木等が約 5 割（図7）



1. 街路樹の現状

維持管理費

- 実質的な維持管理は厳しさが増している（図8）



2. 市民アンケートの結果（R6）

概要

調査対象：無作為抽出法による18歳以上の市民1500名
回収率：34%(510件)

札幌市の取組

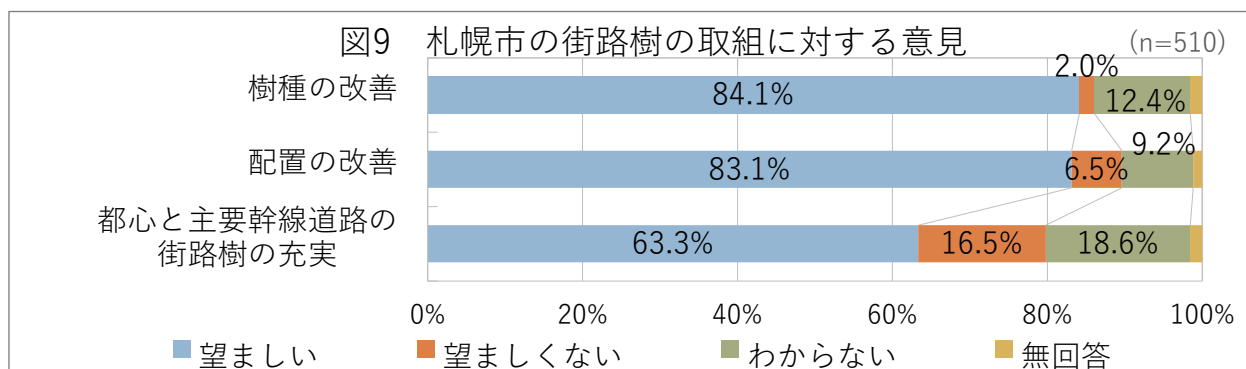
「望ましい」への回答率
…「樹種の改善」・「配置の改善」：約8割
「都心と主要幹線道路の街路樹の充実」：約6割（図9）

街路樹に期待すること

住宅地：四季や自然を感じられる
都心と主要幹線道路：街並みとの調和

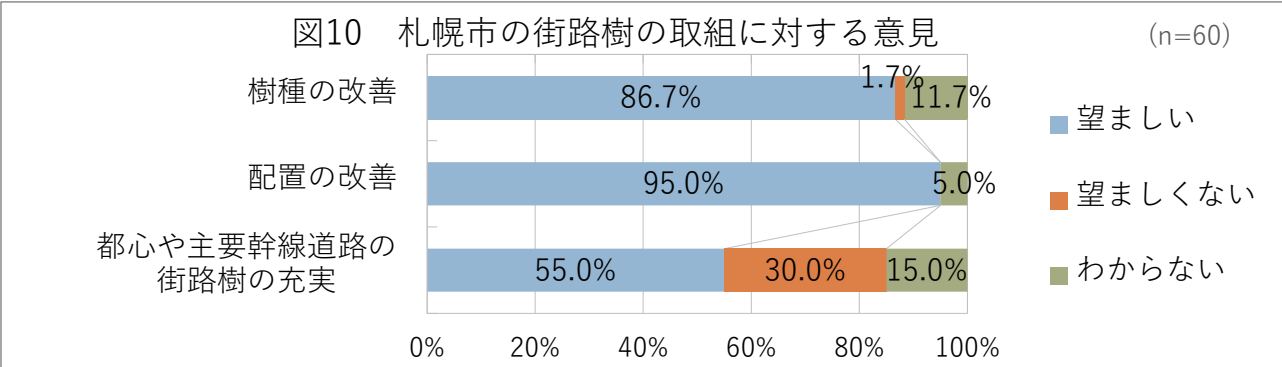
樹木の性質

虫があまり発生しない



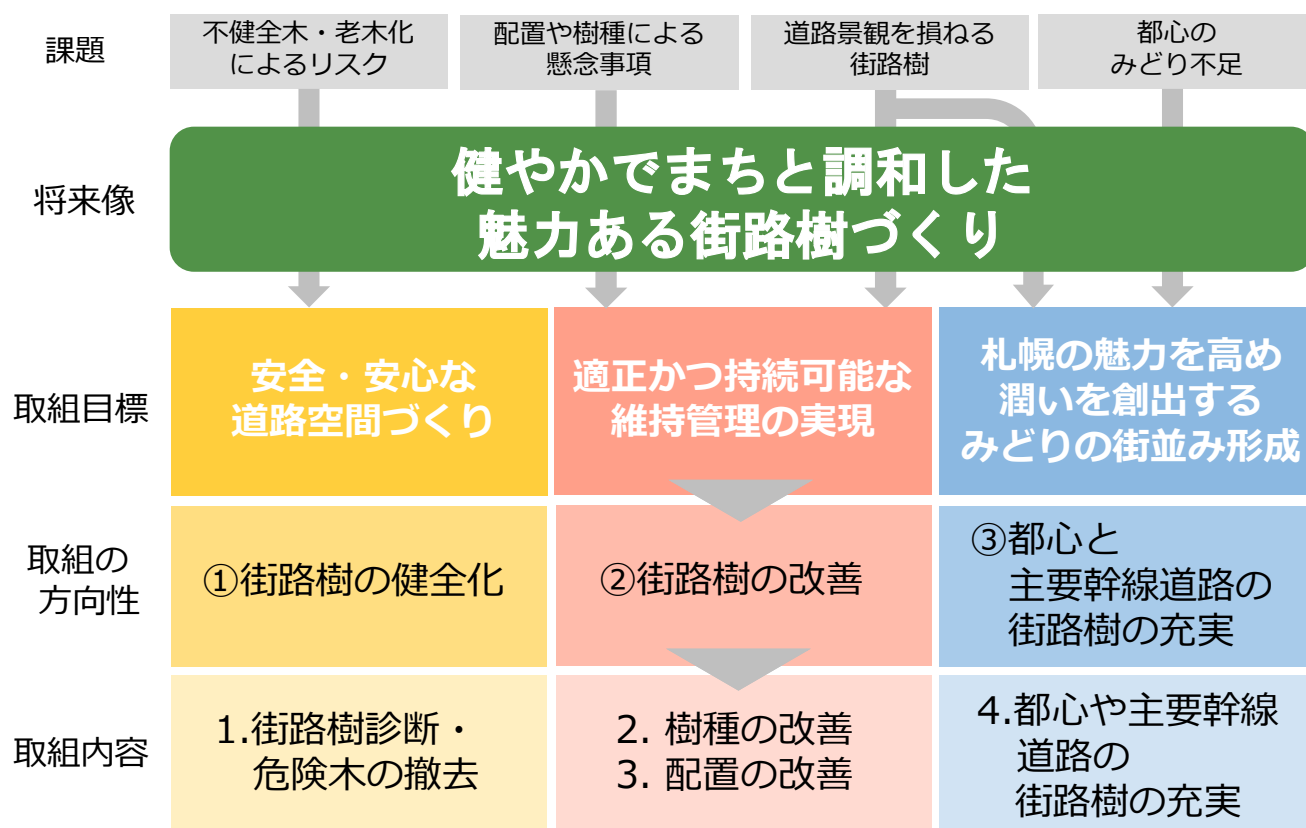
3.街路樹維持管理受託者へのアンケートの結果（R6）

概要	調査対象：街路樹維持管理受託者64社 回収率：94%(60件)
札幌市の取組	「望ましい」への回答率 …「樹種の改善」・「配置の改善」：約9割 「都心と主要幹線道路の街路樹の充実」：約6割(図10)
街路樹に期待すること	住宅地、都心と主要幹線道路とも：街並みとの調和
樹木の性質	虫があまり発生しない



4.街路樹の課題

不健全木・老木化によるリスク ▶早生樹種等の老木化の進行 ▶強風による風倒木	配置や樹種による懸念事項 ▶幅の狭い歩道の街路樹 ▶枝の越境や視認性の阻害 ▶落葉や落枝 ▶花粉や虫の発生 など
道路景観を損ねる街路樹 ▶枝が短く切り詰められた街路樹 ▶樹種のバラつきや樹形の乱れによる統一感のない道路景観	都心のみどり不足 ▶都心の緑被率が低い ▶都心部の公共施設、民間施設の緑化に対する市民の満足度向上を目指している



取組の方向性① 街路樹の健全化

継続

取組 1 街路樹診断・危険木の撤去

◆街路樹診断

- ・ 樹木医による街路樹診断を実施
- ・ 植栽後年月を経た市管理路線を対象
- ・ 下記の診断項目や過去の枝折れ、倒木の発生を踏まえ実施路線を判断

<診断項目>

- ・ 樹齢
- ・ 植栽状況
- ・ 目視による樹勢
- ・ 樹種
- ・ 腐朽度
- など



街路樹診断の実施イメージ

◆危険木の撤去

- ・ 危険木と診断された樹木はすみやかに撤去

取組の方向性②

街路樹の改善

強化

取組 2 樹種の改善

◆樹種の改善

- ・ 早生樹種から街路樹の適性が高い樹種へ植え替える
- ・ 郷土種の積極的な採用

▶ 都心部

札幌の顔としてふさわしい魅力的な樹種（例：ハルニレ）

▶ 住宅地

将来的な大きさがコンパクトな樹種（例：ヤマモミジ）

取組 3 配置の改善

◆配置の改善

- ・ 幅の狭い歩道や交差点部にある街路樹で 配置を改善
- ・ 幅の狭い歩道では、住民の皆様や事前に周知



取組の方向性③

都心部と主要幹線道路の街路樹の充実

向上

取組 4 都心部や主要幹線道路の街路樹の充実

◆目指す姿

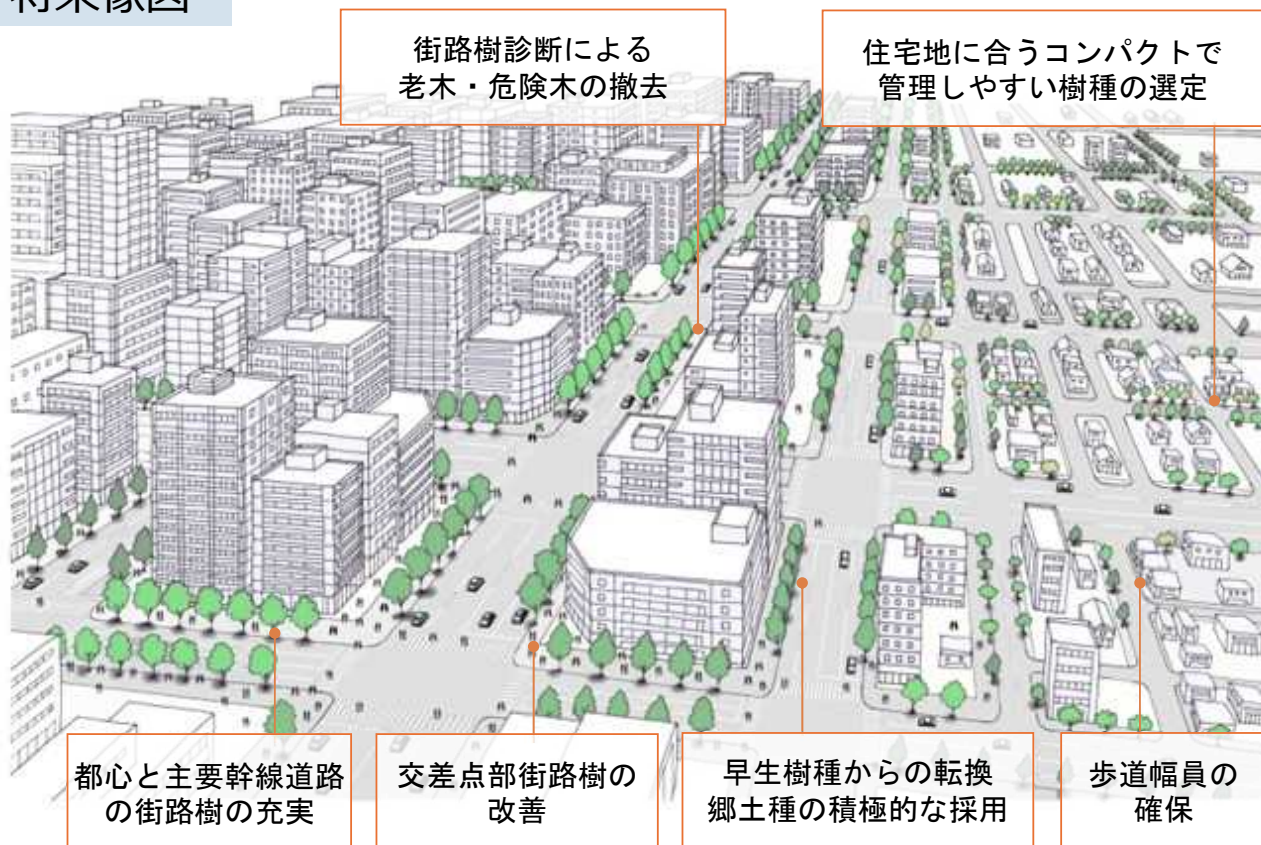
- ・ 札幌の顔にふさわしい風格のある美しい健全な街路樹
- ・ 札幌らしい大きな緑の骨格となる街路樹
- ・ 四季の変化に富んだ美しい街路樹

◆魅力アップ剪定

- ・ 樹種や植栽環境、路線ごとの状況に合わせ、きめ細やかな剪定を行うことで、魅力的な樹形づくりを行う



将来像図



街路樹基本方針の改定案について

ロードマップ

現在（2025年）

10年後（2035年）

30年後（2055年）

方針の改定

方針で目指す姿

方針における取組と達成目標		将来像
方向性① 街路樹の健全化	【1】 街路樹診断・危険木の撤去 樹木医による街路樹診断を実施、危険木と診断された樹木をすみやかに撤去し安全な道路交通を確保する 年間3,500本を目標に街路樹診断を実施する危険木と診断された樹木をすみやかに撤去する 10年後の達成目標 35,000本の街路樹診断を行い危険木撤去を進める	① 安全・安心な道路空間 ・街路樹診断による危険木の撤去・更新により、健全な街路樹が並ぶ安全・安心な道路空間となっている ② 適正かつ持続可能な維持管理 ・予算や人口に対し適切な街路樹の本数や樹種となり、1本1本に適切な管理費が充てられ、質の高い管理が行われている ・住宅地では、コンパクトで維持管理しやすい街路樹により、歩道幅員の確保とみどりを両立した、住民の満足度が高い道路が形成されている ③ 札幌の魅力を高め潤いを創出するみどりの街並み形成 ・札幌市にふさわしい風格ある街路樹に包まれた街並みは、都市環境に潤いをもたらすのみならず、市民の誇りとなり来訪者の目を楽しませている
方向性② 街路樹の改善	【2】 樹種の改善 早生樹種から環境条件に適応した樹種への植替えや郷土種の積極的な採用により、美しい景観づくりや周囲への影響の軽減、街路樹の維持管理作業及び費用の軽減につなげる 【3】 配置の改善 幅の狭い歩道の街路樹は、通行支障や住宅地への越境などの問題が多いため、現在定めている植栽基準で対応し、市民満足度の高い道路空間づくりを行う 年間35路線を目標に、改善する （参考：これまでの目標：年間30路線） 10年後の達成目標 350路線で樹種の改善・配置の改善を行う	
方向性③ 都心と主要幹線道路の街路樹の充実	【4】 都心と主要幹線道路の街路樹の充実 都心や主要幹線における街路樹の魅力を向上できるよう、各路線の状況や植栽状況を踏まえて、きめ細やかな剪定を行う。 43路線を対象に、通常よりもきめ細やかに剪定を行う 10年後の達成目標 対象の43路線で細やかな剪定を行い、札幌の顔となる道路空間を形成する	

